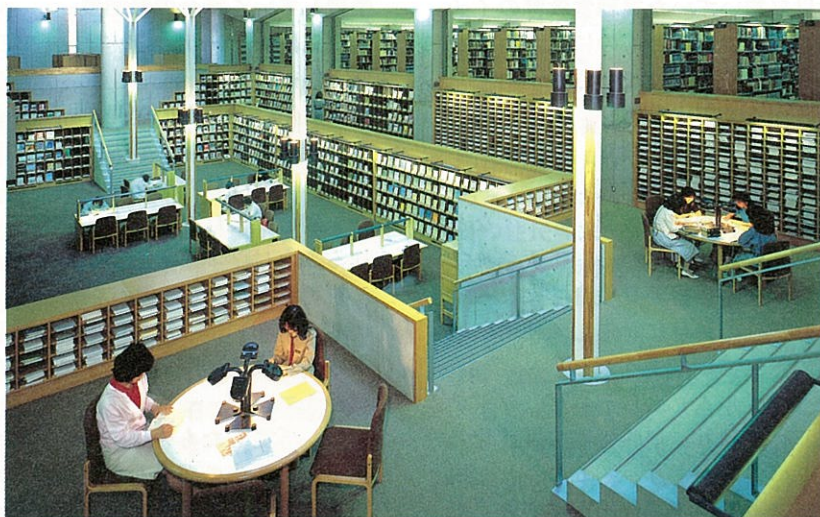


第 6 号

Library Mate



図書館は精神の宝物庫

中学・高等学校長 船崎 和 夫
一般教育教授

情報過多時代の中で活字離れが進んでる現在こそ、読書によって先哲の思想や生き方をじっくりと学び考え自分を高める必要を痛感しております。本年5月6日付の読売新聞に日本青少年研究所が行った、日本とアメリカの高校生の読書調査の比較が掲載されました。漫画、読書時間、書物の種類等の結果を見て中学生に読書をすすめる努力を続ける大切さを感じています。

大学では学習の参考にすることが主目的になるため専門過程（三、四年次）において図書館の利用度が増大する旨を伺ったことがあります。

これに対して私共の中高図書館では趣味的な書籍の貸出が70%以上を占め、しかも高二、三年の受験期になっても参考書類の貸出は非常に

少ない、このことは塾の関係と家庭に揃えてあるのが原因と思われます。

情報化社会と言われる時代となり、図書館の使命と内容も変化するでしょう、即ちインテリジェンスセンターとしての機能が要求されると思われます。そこでその手始めに、単に読むのみではなく AV（視聴覚）特にオプティカルメディアに着目して現在こつこつと収集していますが、幸い生徒にアピールして好評を博している状況であります。

中高図書室も昨年暮れから拡張と内部改装を行って大分利用しやすくなりました。中学生が一人でも多く図書室に通い、沢山ある精神的な宝物さがしをしてくれるようお願いしております。

メディア教育をめざして

教職課程教授 倉島敬治

図書館学の「視聴覚教育」を担当して4年目になる。教育をシステムとしてとらえる教育学という新しい分野で研究教育をしてきたので、私の学生時代以来抱いていた視聴覚教育のイメージとは違った新鮮で面白いものにしたいと願って、いろいろ試してみたのである。

☆ 視聴覚教育からメディア教育
まず(1)図書館学の「視聴覚教育」
他に(2)博物館学の「視聴覚教育」

(3)教職課程の「視聴覚教育」などが授業科目として開設されている。市販されているテキストは同一名「視聴覚教育」になっていて、上記それぞれの科目に対応して使用に耐えるように構成されているようだ。

映画の時代（フィルム）からテレビ、ラジオの時代（電波）へと移り、情報機器の近代化と普及はめざましいものがあり、それにつれて視聴覚教育のテキストも内容、範囲が拡がり、部厚いものになって値段も上がった。

特に最近ではコンピュータの情報処理能力の急上昇とコンパクト、低価格化が進み、新しいメディア、ハイパーメディアとして時代の先頭に立つようになって、「視聴覚教育」の概念枠を超えるものとして考えられるようになった。まあ、それでもなんとかテキストに収めて利用者に答えているようだが、使いこなせない。

印刷系（図書系）、写真フィルム系、ラジオテレビ系、通信電話系、新聞・雑誌マスコミ系の各メディアが持つ特性のすべてをカバーするハイパーメディア：コンピュータの出現で視聴覚教育も概念変革を迫られることになった。

この図書館学の「視聴覚教育」は何を対象にすべきか、博物館では、教職課程では……といった次第である。

☆ メディア教育へ

第一段階 メディアによる教育・学習（Learning by media）教室やホールで視聴覚機器で一斉集団教育をする多くの場合で受身型。

第二段階 メディアを通じた教育・学習（Learning through media）学習者がビデオとかテープコード、映画、パソコンを操作しながら学習していく場合で参加型。

第三段階 メディアについての教育・学習（Learning about media）でメディアのすべてを利・活用、ソフトの開発、ハード及システム、その社会的機能、影響力、文化的意味などを対象として研究教育をするのである。総合型。

☆ 観ることは描くこと、聴くことは唄うこと、作ることは学ぶこと（Learning by doing）

視聴覚教育からメディア教育へと転換して、メディアについてよく知る必要がある。テキストからの文字、写真、イラスト情報を視聴覚教材からコンピュータソフトに至るまで、自分で制作、開発したものはよく学習され、定着する。例えば、学生の開発した「図書館の利用法」ビデオ、スライド作品があるが、毎年作り変えられ、改良され4作目はかなり完成度の高い作品になってきた。他人の創った作品を利・活用するだけではメディアの基本的機構、機能の理解は表面的になってしまう。そこで毎年、貴重な講義時間の殆んどを制作、開発に当てている。学生に負担は大きいが身についたものは多分消えないだろう。設備もだんだん充実してきたが、困難な時の作品にはそれなりの工夫があり面白い。しかし、ハイパーメディアにまで行くには、何時も時間切れである。残念！





前川恒雄著

「移動図書館ひまわり号」 筑摩書房 昭和63年

図書館学課程助教授 今村秀夫

交通の不便な場所にある薄暗い建物、無愛想な職員、求めている資料はまず得られない。それが従来の日本の公共図書館であった。だが、今日の公共図書館は大きく前進している。その公共図書館発展のテコとして、先導的役割を果たしてきたのが日野市立図書館であったことは、案外一般には知られていない。

旧態依然たる図書館しか知らない住民や行政当局に囲まれながら、昭和40年以来、年月をかけ、いかに近代的公共図書館を日野につくりあげていったか。その力強く涙ぐましいばかりの活躍を物語風に記録したのがこの本である。さらに日野市立図書館を支え、日本の公共図書館を近代化へ導いた理論がどのようなものであったかも伺える。

図書館づくりの使命を帯び、当時の日野市に招かれた著者は、それまで図書館界の中央にいて著しく遅れた日本の公共図書館の変革を目指して、調査研究に同僚達と没頭していた。その苦心の模様から話は始まる。従来の、公共図書館をいわゆる教育機関とする考え方から脱し、求める人びとに資料提供を着実に実施しながら、住民の資料要求を増大させること。図書館は建物ではなくシステムである。つまり、多くの資料を持ついくつもの分館と中央館が、一つのシステムとして有機的に結ばれた図書館網でなければならないとする。それが、中小都市の図書館こそ公共図書館の要だと考える。通称「中小レポート」と呼ばれるものに結実したのが、新しい図書館への理論であった。

著者を館長とする日野の図書館は、当時としては多額の図書費と移動図書館（ブックモビル）1台だけで出発した。大きな建物の建築を断わり意図的にそうしたのである。以後、日野市は次第に分館を増やし、最後に中央館を造るという道を歩むのである。なぜ、そのような迂

遠とも思われる方法を選んだのか、その結果がなにを生んだのか、著者はそれらを生き生きと語っていく。

閲覧室を持たない、貸し出しを全てとするこの図書館の実現には、多くの抵抗や困難が伴い図書館界の人びとからも批判を浴びることさえあった。しかし、充分検討を重ねた理論と、館員の住民要求に誠実に応えていく実践が、日野の図書館の利用率を驚異的なものに高め、図書館を市民に不可決なものにしていく。その経過が日常の図書館サービスの諸相と共に描き出され、読者に感動を誘いさえする。

日野の図書館は、「中小レポート」理論の正しさを見事に実証してみせたのである。

著者とそれを支える人びとは、日野市立図書館の実践による成果に基づき、日本の公共図書館新生のガイドライン作成にもかわり、新しい図書館の誕生をいくつも促す原動力ともなる。この本には単に日野市のみならず、戦後の公共図書館の大きな変革の足跡が記されている。そればかりか、図書館に限らず、広く一般に、新しい道を開拓しようと志すパイオニアにとって、多くの示唆を与えてくれるところに、この本の魅力を見出す人も少なくないだろう。



図書館の仕事〈6〉

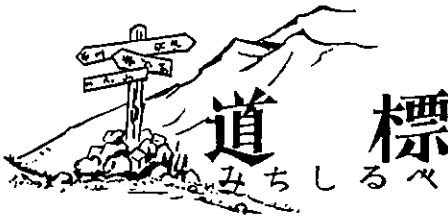
古典籍の補修

特殊コレクションの中には黒川文庫、常磐松文庫、近世文芸資料、山岸徳平文庫などのように和装本を主体にしたものがあります。これらは一般の図書と違って書架に並べているわけではないので、資料の傷み方も異なります。古典籍の補修は虫損直し、裏打ちのほか、冊子本の造本、綴直しなどがあり、いずれも経験を伴う仕事です。簡単な補修は図書館員でも出来ますが、和紙の質、使われた糊などを見極めることも必要です。本学ではそのほとんどを専門家である方々に依頼しています。素人の補修でセロテープや化学糊を使ったのを見かけますが、永久に保存をすべき資料には絶対に使うべきではないでしょう。

和装本の補修が一番多いのが虫損直しで、虫損部分の大きさより若干大きめに料紙をちぎり、虫損部分の周りに糊を付けて貼ります。裏打は冊子や巻子本、一枚物の資料の裏側にさらに紙や布を貼り付け補強することです。大学図書館では資料購入費や製本費のほかに古書補修費という予算を組み、これに当てています。

これまでに補修（虫損直し、裏打）した資料のいくつかを挙げておきますので、いつか眼を通して見て下さい。

那智籠、狭衣、遊仙窟、富士野御狩日記、龍の宮物語、十五番歌合（虫歌合、鳥歌合）、真名伊勢物語、国辞解、戸田茂睡註、伊勢物語奥旨秘訣などがきれいに補修されています。



本が探しにくくなった??
大学図書館

図書5万冊を集密書庫に移動

年々増加の一途をたどる図書の収容スペースを確保するために、約5万冊の図書（主に和図書）を地下1階の集密書庫へ移動しました。

これにより本がない、探せない、という声が聞かれます。そこでこのコーナーでは、図書の探しかたについて、説明します。

1. 先ず図書の配置場所を知ること

図書を探すのに肝腎なのは〈何が〉〈何処にあるか〉を知ることです。〈何が〉については、目録を引けなければたとえ当館に所蔵されている資料でも永遠に死蔵されてしまいます。〈何処にあるか〉を知るには、自分の足と眼である程度探すことが可能です。

図書の配置（特殊コレクションを除く）

和図書

1階	開架書架	全分野（分類000～999）
地下1階	集密書架	〔総記・哲学・歴史・社会科学・自然科学・技術産（分類000～699）〕
地下2階	開架書庫	〔芸術・言語・文学〕（分類700～999）

洋図書

地下1階	開架書庫	全分野（分類000～999）
	集密書庫	一部の図書

和雑誌

中地階	開架書庫	新刊雑誌、大学紀要
地下2階	開架書庫	製本雑誌・紀要（バックナンバー）、短大紀要

洋雑誌

中地階	開架書庫	新刊雑誌の一部
地下1階	開架書庫	製本雑誌（バックナンバー）、新刊雑誌の一部
	集密書庫	製本雑誌の一部

2. 目録の中に図書が隠れている？

目録を引けなければ、資料は永遠に姿を現わしません。とりわけ探しにくい和図書について述べてみます。

(1)カード目録を引いてみる

〔例〕請求記号(ラベル)	911.1351 0 97	Sakushabetsu nendaijiun
標目		作者別年代順古今和歌集 小沢正夫編著 東京 明治書院 1990.9 330p 22cm ISBN4-625-41097-5
所在マーク(黄色シールは集密書庫)	(B2)	
登録番号(図書11)	182932	

上記の例は書名カードから検索した場合に気をつけて見る箇所です。メモが必要です。

(2)冊子体目録検索を忘れぬこと

1983年3月までに受入れた図書館の殆んどは、冊子体の蔵書目録(第1巻~第5巻)に記載されています。

「大正新脩大藏経」般若部を調べたいときは…。

①書名索引(蔵書目録 第5巻)を調べて見る

〔例〕	大正七年茨城県勲位者事蹟……………1	939	求める資料は第1巻のp580を見よ
求	大正震災志写真集(内務省)……………2	278	
め	大正新脩大藏経, 第1~85巻, 別巻		
る	1~3……………1	580	
資	大正新脩大藏経目録……………1	581	
料			

②該当する巻、ページにあたり請求記号を調査

〔例〕	183-9	請求記号
大正新脩大藏経 東京 大正新脩大藏経刊行会		
1960~1979 89冊 27cm		
第1巻 阿含部 上		
第2巻 阿含部 下		
第3巻 本縁部 上		
第4巻 本縁部 下		
第5巻 般若部		

ラベルの形にすると

183
9
5

 となります

③書架に足を運ぶ

冊子体目録にはカード目録に記載されている所在マークと、登録番号が記載されていないので、実際に足で書架までいくことになります。もし書架にない場合、次のことが考えられます。

- ア. 貸出中か(調査可能→貸出中であれば「予約」できます)、閲覧利用中。
- イ. 集密書庫に収蔵されている。(手続きは、別紙参照)
- ウ. 不明である。

何れの場合も、無いからと諦めないことです。

3. 本は探せる!!

探しにくくなったが本は必ず探せる。

次の手順で、探してみよう。

- ①目録を探索せよ
- ②自分の足と眼で探せ
- ③情報誌(書誌・参考図書)を調べる
- ④レファレンスを大いに利用せよ

特に④のレファレンスは、自館で手に入らない資料を入手したり、他館利用の窓口となります。本は探せると信じて欲しいし、図書館職員としても万全を尽くして提供につとめたいと思います。

ブック★ストック

— 蔵書ガイド —

常磐松文庫

本学の中心的な古典籍のコレクションである。

昭和20年5月25日の爆撃で、実践女子専門学校の校舎はその全てを焼失し灰となってしまった。新制実践女子大学図書館は昭和20年代の後半から復興期に入り、その最初が「黒川文庫」の収集であった。昭和31年9月に新築落成をみた大学図書館は、その当時の所在地である「常磐松町」の名を冠して「常磐松文庫」が創設されている。現今より古書の購入は容易ではあったと思われるが、分野別に見るとその範囲は広く、収集に鋭意努力された跡がよく判る。常磐松文庫はその後も購入を続け、今日に至っているが、古典籍資料は半ば骨董品的な、または美術品的な価値を付与されるようになって来ている。よって価格は高くなり各図書館とも財政的に苦慮しているのが現状である。検索の手段としては、カード目録が2階教員閲覧室の隅に置かれている。常磐松文庫目録（総記～語学、文学）、同書名目録（アルファベット順）のほかに別置図書目録（総記～芸術、語学・文学）に常磐松文庫が収録されているので検索に利用されるとよい。また、分類目録には黒川文庫と常磐松文庫が繰り込まれている。

収集されている資料を分野別に紹介し、若干の解説を付すので、今後の閲覧に際して参考になればと願うものである。

蓬萊山 卷子本2巻の極彩色、奈良絵9枚。不老不死の薬にまつわる諸伝説と海人安彦の異郷訪問譚。

しゅてんどうじ 折本3帖 箱書は「大江山」。源頼光が五人の家来をつれ、鬼に酒を吞ませて退治する怪物退治伝説。「実践女子大学紀要 第7集」の『古浄瑠璃における妖怪変化退治もの』鳥居フミ子著に詳しい考察がある。

たわら藤太 2冊 奈良絵13枚。龍神に頼まれ三上山の百足退治をする話と、平将門の乱を平げる話とから成る。

水無瀬三吟 中本 1冊 写本。宗祇が弟子の肖柏、宗長ら三人と詠んだ連歌百韻である。何人百韻、何路百韻との合綴本。

紹巴独吟 美濃本 1冊 元禄11年写。里村紹巴は室町末期から安土桃山時代に生きた連歌師。

おくのほそ道 常磐松文庫には素竜本（元禄7年写の複製）、去来本（元禄8年写の複製）、寛政元年本（版本）などがある。

つれづれ草 半紙本 3冊 写本。卜部兼好の随筆で、雅趣に富む淡彩絵入本である。

古渡唐棧譜 大本 1冊。唐棧留と呼ばれる綿織物73種の張り込み帖。

更紗図譜 半紙本 1冊。更紗の製造方法とデザインについて記したものである。

料理物語 1冊 刊本。従来の庖丁流派から離れた実践的知識による料理書になっている。

料理切形秘伝抄 1冊 刊本。四条家の菌部流の秘伝書で、料理についての作法もある。

諸国名物御前菓子秘伝抄 1冊 刊本。和菓子の料理専門書として最初のものだが、各種の料理書にも菓子に関する記述はかなりあった。

料理通 4冊 刊本。江戸時代の代表的な料理書の1冊である。四季の本膳、精進献立、料理心得、卓袱料理などが内容である。また、大田南畝の序文、谷文晁の蔬菜図などが見える。

以上の他にも多くの古典籍が収蔵されている。図書館のレファレンス・カウンターで所蔵の調査をした上で利用することができる。(S)

Library Mail

— 収書ガイド —

新収古書について 図書館資料の新刊図書については、その一部が新刊書架に展示され、未整理のまま貸出し利用もできるようになっている。今回のこの欄では、古書として最近収集した資料を紹介することにした。紙面の都合で記述の簡略な紹介になるので、利用にあたっては書名・著者のカード目録を検索するほか、カウンターにも問合せる必要がある。

永岡京木簡 1 向日市教育委員会編・刊
 藤原京木簡 1、2 奈良国立文化財研究所編
 東京国立博物館蔵書目録 和書 2 同館編
 全国公立美術館所蔵作品目録 文部省文化局編
 法隆寺金堂釈迦三尊像 田沢垣ほか編著
 日本の肖像 京都国立博物館編
 司馬江漢 中井宗太郎著 アトリエ社刊
 画人司馬江漢の研究 河西万丈著
 支那南画集成 1、2 期 田口米紡編
 本草関係図書目録 上野図書館編・刊
 日本衣服研究所彙報 1号 田中千代編
 日本劇場史 後藤慶二著 岩波書店刊

浮世絵 1号～4号 浮世絵同好会
 三彩 122号～429号 (昭和35～58年)
 ユリイカ 創刊号～終刊 青土社

巻懐食鏡 香月牛山輯述 田中庄兵衛 寛政2
 胡椒一味重宝記 浅尾種雄著 原勤堂 嘉永7
 日用食性 曲直瀬玄朔著 [延宝頃]
 和漢人参考 加藤順著 結城次郎兵衛 安永3
 和歌食物本草 京都 安田十兵衛 寛永19
 飲膳摘要補遺 小野職博(蘭山)審訂 文化14
 甘藷百珍 珍古樓主人著 寛正1序文
 料理歌仙の組系 冷月庵谷水著 寛延1
 御膳所献立 写本 [江戸後期]
 膳組聞書 写本 寛永6奥書
 饌書 小四海堂主人著 弘化1凡例
 豆腐百珍続編 何必醇編 北尾善七 天明3
 年中番菜録 千馬源吾撰 嘉永2
 当世料理筌 [文化年間]
 料理珍味集 卷1、4 博望子著 宝暦14
 料理物語 寛永20奥書

日本山海名産図会 法橋関月画 寛政11
 與車図 1卷 写本 [明治期?]
 古今著聞集 橘成季著 写本 元禄12 5冊
 平家物語 書肆堂 延宝5 12冊
 魚類画譜 静斎芳邨画
 [役者岡目八眼] 安永10年序 1冊

The Border antiquities of England and Scotland.
 2 vols. Longmans, 1814-17.
 Bon-mots of Charles Lamb and Douglas Jerrold.
 Edited by Walter Jerrold, London, 1893.
 Journey into obscurity. Owen, Harold. Wilfred
 Owen, 1893-1918. 3 vols. Blackwood, 1918
 -27.
 Waftau: catalogue. Brié, Raoul. Ed. 4 vols.
 The Paintings of Nicolas Poussin. Blunt,
 Anthony. 4 vols. Phaidon, 1966.
 Max Ernest oeuvre-katalog. 3 Bds. Menil
 Foundation, 1975.
 L'Album: Les maitres de la caricature. no. 1-8.
 Paris, 1914-1915. Cocteau, Jean. ed.
 Italian pictures of the Renaissance. Bérenson,
 Bernard. 7 vols. Phaidon, 1957.
 Valazquez: A catalogue raisonné of the Pictures
 and drawings. Mayer, August L. Faber and
 Faber. 1936.
 Klimt: Hofstätter, H. H. Gustav Klimt, erotische
 Zeichnungen. 1979.
 Marc Chagall: The Ceramics and Sculptures of
 Chagall. 1972.
 Rouault: Venturi, L. Georges Rouault. Skira,
 1948.
 Chagall: Haus der Kunst (München). Marc Cha-
 gall, Ausgewählte graphik.
 Rousseau: Bouret, J. Henri Roussau. Neuchatel,
 Ideet Calendes, 1961.
 Mucha: Rennett, J. et al. Alphonse Mucha. Up-
 psala, Hjert & Hjert. 1984.

※※※いんふお-め-しょん※※※

1991年6月～1991年12月

大学図書館

開館時間

月～金 9:00～18:00 土 9:00～16:00

試験期 9:00～18:45 7/1～23の(月)～(金)

夏期休業期間 9:00～16:00

休館日

書庫整理日：月末の火曜日

試験期の貸出

6/24(月)～7/5(金) 3日間貸出

7/6(土)～7/20(土) 1日貸出

夏休み特別貸出

期間：7/22(月)～9/26(木)

冊数：大学院生、4年生 10冊

1～3年生、短大生 } 5冊
聴講生

卒論貸出

対象者：博士論文作成者・修士論文作成者・
卒論作成者

期間：文学部 10/1(火)～10/31(木)

家政学部 11/1(金)～12/2(月)

冊数：10冊

短期大学図書館

開館時間

月～金 9:00～17:00 土 9:00～16:00

試験期 9:00～18:00 7/1～19の(月)～(金)

夏期休業時間 9:00～16:00

休館日

書庫整理日：月末の水曜日

試験期の貸出

6/24(月)～29(土) 1週間貸出

7/1(月)～6(土) 3日間貸出

7/8(月)～20(土) 1日貸出

夏休み特別貸出

期間：7/22(月)～9/26(木)

冊数：5冊

お知らせは3か所に掲示しています。

図書館＝INFORMATIONコーナー

(入口・カウンター前)

本館1階ロビー＝図書館掲示板

※詳細は掲示をご覧ください。

編集後記

大学図書館では返却ポストを設置しました。図書館が閉館していても本を返却することができます。

開館前でも...
閉館後でも...
返却はこれで
だいじょうぶ。



暑い季節になると、図書館の入館者数が増える「なぜだ?」「試験、レポート、いやクーラー??」もっと図書館を知って上手に利用して、充実した学生生活を送ってほしい。「図書館のPR活動が必要だ!!」様々な思いと考えが浮かぶ。ええ～い、だから今回は「図書館」特集だ!

Library Mate 第6号 1991年7月

発行所 実践女子大学図書館

東京都日野市大坂上4-1-1

実践女子大学図書館短期大学分室

東京都日野市神明1-13-1

発行責任者 宮澤文雄

ワード・ぷろふえっさー

～図書館用語のミニ解説～

- 閲覧……………図書館内で資料を読んだり調べたりすること。
- 開架方式……………自由に本を手にとって利用できる閲覧方式。
- 閉架方式……………冊子・カード目録を検索して、カウンターの係を通して利用する閲覧方式。開架に対することば。
- 冊子目録……………図書館の目録のうち、冊子形態のものをいう。カード目録に対することば。
- 日本十進分類法・デューイ十進分類法……………図書館のテーマや分野を数字によってあらわした表のこと。
- 所在マーク……………図書資料の所蔵されている場所を、あらわしたマーク。
大学図書館の例
- | | |
|----------------|------------|
| ⓑ=地下2階書庫 | Ⓡ=参考図書コーナー |
| Ⓛ=大型本コーナー | Ⓢ=和装本コーナー |
| ⓑ=ブラウジングコーナー | |
| ○=集密書庫（黄色いシール） | |
- 請求記号……………図書資料が配架されている位置を示す記号。本のラベル番号と同じ。
- 返却ポスト……………借出した資料を、図書館へ返却するため作られた郵便ポストのようなハコ。
- 予約図書……………求める資料が、貸出中であった場合など、返却をまって予約者に通知し優先的に貸出しすること。
- 希望図書……………求める資料が、図書館で所蔵していない場合。購入して利用者に提供すること。
- 相互貸借……………求める資料が、絶版、高価、利用度が低い場合などで購入できない場合他館を通じ、利用者に提供すること。
- 参考図書……………辞書、百科事典、人名事典 etc. 特定の知識・情報について調べるための図書。

